



東風

〇月〇日

教育目標

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子

〇じょうぶな子

【重点目標】

なりたい自分に向かって、しなやかな心でやりぬく子

令和5年2月28日発行 第12号

勉強脳

校長 赤松 慎也

今年度最後の全校朝会で、表題の「勉強脳」について話しました。よりよく学ぶためには、脳の仕組みとその脳の正しい使い方を知ることが大切です。まずは、脳の仕組みについて伝えました。

・脳の仕組み その1、

実は脳は「覚える」よりも「忘れる」方が得意なんです。例えば、初めて会った友達の名前や習ったばかりの漢字など、覚えられなくてこまったことがあると思います。決して、それは頭が悪いからではありません。人間の脳は、「覚える」能力にも優れていますが、入ってくる情報で一杯にならないように「忘れる」能力は、もっと優れているのです。では、どうすればいろいろなことを覚えておけるのか。

・脳の仕組み その2、

くり返し使うと、脳はだまされて覚えようとする仕組みがあります。脳は、「命を守るための情報」は絶対に忘れません。あぶないことや危険なことに出会ったら、そのことは覚えています。生きるために、とても重要なことだからです。しかし、学校の勉強は、脳にとって「命を守るための情報」ではありません。漢字は食べられないし、かけざん九九だって、敵から自分を守ってくれません。そこで、脳に、漢字や計算、かけざん九九も、命を守るためぐらい大事な情報だと思わせる必要があります。

毎日会う友達の名前は、別に命には関係ないけど忘れないですね。それは毎日繰り返し使っているから忘れないのです。脳が「こんなに使う情報ならきっと大事だ」とだまされているからです。「覚えるポイント」は、「繰り返し使って脳をだますこと」です。

ここからは、朝会では紹介できなかった脳の使い方についてです。

●「脳の使い方その1」。

記憶のカギは、「入れる」より「出す」こと。覚えたことは、脳の中にしまって置かないで、出して使いましょう。もし答えがわからなくても、問題にチャレンジしましょう。そして、「覚えた」ことは出来る限り、人に話す。勉強や色々なことでわかったことを人に教える。お友達やお家の人や先生に、わかったことを伝えていくと良いです。

●「脳の使い方その2」

間違えることが、逆に脳の記憶を強くします。人間の脳は、間違えた方が、よく覚えようとしてくれます。だから勉強中は、まちがっても大丈夫です。むしろ、まちがったことの方がよく覚えていて、まちがえた経験も、次の問題を解くときのヒントになってきます。なので、脳に入れたものをどう「出す」かが、記憶のカギになります。

子供達には、各学年のまとめとなる3月、学習の参考にしてもらおうと共に、ご家庭では今日学んできたことや、学校生活での出来事を子供の言葉で話す機会をより多く作っていただけると幸いです。

東小の子どもたちの活躍

2月12日イワナイリゾートスキー場で第68回岩内町少年スキー大会、第5回連盟岩宇小学生大回転競技大会が開催されました。また、学校全体で応募した第28回ふるさとこども美術展にも多数の入賞者がありましたので、ご紹介いたします。

第5回連盟岩宇小学生大回転競技大会

1年男子 1位 山崎陽菜 2位 村瀬陽太
女子 1位 勝間彩絢
3年男子 1位 荒井敬悟 2位 三宅天晟
3位 藤野想
5年男子 1位 久保田一咲
6年男子 1位 脇坂冠杜 2位 宮崎陽向

【第68回岩内町少年スキー大会】

1年男子 2位 山崎陽菜
3位 村瀬陽太
女子 1位 勝間彩絢
3年男子 3位 荒井敬悟
5年男子 3位 久保田一咲
6年男子 1位 脇坂冠杜
2位 宮崎陽向

【ふるさとこども美術展】

低学年の部 入選 2年 大坂さくら
中学年の部 佳作 4年 佐藤 悠
高学年の部 銀賞 6年 堀 芽生 佳作 6年 鈴木颯泰
入選 5年 藤澤馨士 阿部真陽菜 6年 滝本ここみ 齋藤悠陽

SNS教室、人権教室

2月14日（火）に法務局の人権擁護委員さんに来校いただき2年生が人権教室を行いました。ダイヤモンドランキングという手法で友達について考えました。



また、15日（水）には3・4年生、27日（月）には5・6年生が岩内警察署の方に来ていただき、SNS教室を行いました。

SNS教室は、既に子どもたちの日常に溶け込んでいるスマホやタブレットを正しく使い、便利な機器の恩恵を享受しつつ、誰もが嫌な思いをしないようにと知識やマナーを学びました。人権教室の仲間を思いやる気持ちにもつながると考えています。

安心メールについて（お知らせ）

現在日々の欠席について、安心メールを用いて連絡をいただけるよう準備しているところです。準備が整い次第ご案内し、利用していきたいと考えています。先月の学校便りでもお伝えいたしました学年末（春休み中）の更新手続きとも合わせご理解ください。